

◆医療機関向け研修◆

罹患後、約8割が抱えるという「キャンサーロスト」を意識した、がん罹患経験者とのかかわり方とは

「キャンサーロスト」とは、「がん罹患によって失ったものや機会」を表す、一般社団法人がんチャレンジャーによる造語です。弊法人のアンケート調査によると、約8割（79.1%）のがん罹患経験者がキャンサーロスト体験を抱えていることが浮き彫りとなりました。また、キャンサーロストといえるような喪失体験をした方のうち、「乗り越えられたと思う」と答えた方は約3割（28.2%）にとどまり、多くの方は未だ完全には乗り越えられていないという事実も読み取れました。そこでこの度、そうしたキャンサーロストに今も苦しんでいる当事者の方への理解を一層深めていただきたく、医療機関向け研修をご用意しました。ぜひ貴院の医療従事者の皆様への教育の一環としてお役立てください。

昇進

マイホーム
友人関係

標準時間

1.5～2時間

参加人数

要相談

会場

現地、もしくはZOOM等によるオンライン（貴院の環境に準じます）

内容

- ・講師自身のキャンサーロスト体験のご紹介
- ・キャンサーロスト調査から見る罹患者の苦悩とは
- ・罹患者とかがわる際、意識してほしいことなど

出産

就職

参考書籍

標準価格

20万円（参加人数等条件により応相談）

転職

『キャンサーロスト
「がん罹患後」をどう生きるか』
（小学館新書）



講師：花木裕介（一般社団法人がんチャレンジャー代表理事／産業カウンセラー／両立支援コーディネーター）

2017年（38歳）、民間企業で管理職を目指すさなか、中咽頭がん告知を受け、標準治療（抗がん剤、放射線）を開始。翌8月に病巣が画像上消滅し、9月より復職。フルタイム勤務の傍ら、2019年11月に一般社団法人がんチャレンジャーを設立。厚生労働省委託事業「がん対策推進企業アクション」におけるがんサバイバー認定講師、千葉県がん対策審議会専門委員としても活動している。2023年8月、『キャンサーロスト「がん罹患後」をどう生きるか』（監修：真野俊樹先生）刊行。



【お問い合わせ】

一般社団法人がんチャレンジャー 事務局

<https://www.gan-challenger.org/contact/>



～人が人に寄り添う社会づくりに貢献する～

一般社団法人
がんチャレンジャー